

1. 教育目標

- (1) 眼科疾患の病態生理と治療を理解する。
- (2) 視覚科学について理解する。
- (3) 各種眼科検査で得られる最新の知見を理解する。
- (4) 眼科疾患の病態、診断、治療において解決できていることとできていないことを分類する。

2. 到達目標

- (1) 眼科疾患の病理、病態生理を説明することができる。
- (2) 眼科検査の原理を理解し、説明することができる。
- (3) 自らの研究テーマを決め、それに沿った研究計画を立てる。
- (4) テーマに関連する論文を検索、熟読し、論文を作成することができる。

3. 成績評価の方法と基準

成績の評価は、本学で定められた「成績の評価基準」に基づき、到達目標に対する達成度及び修得すべき基礎知識・技能の修得度により行う。

課題におけるレポート提出（30%）、研究成果の発表（30%）、発表・討議の内容（40%）

4. 教科書・参考書

M.Yanoff & J.W.Sassani: Ocular Pathology, 8th ed. MOSBY USA; 2020

K.B.Freund, D.Sarraf, W.F.Mieler, et al.: Retinal Atlas, 2nd ed. ELSEVIER;2017

J.F.Salmon: Kanski's Clinical Ophthalmology, 9th ed.- A Systematic Approach. BUTTERWORTH-HEINEMANN;2020

5. 準備学習

予習としては、関連文献を検索し、知識を整理しておくこと。（1時間以上）

復習としては、学習・討論内容を整理し、まとめておくこと。（0.5時間程度）

6. フィードバック方法

当該年度修了時に提出する「研究計画書」、又は「研究進捗・指導状況報告書」によりフィードバックを実施する。

(第1学年・昼間開講)

【眼科学】

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	福山助教 山本助教 吉村助教	月曜/5限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	眼科の検査・手術手技	木村講師 増田臨床講師	第2火曜 /3限	通年	1	カンファレンスルーム
講義	眼科研究アップデート	五味主任教授 佐藤講師 田片臨床講師	第1月曜 /4限	通年	1	カンファレンスルーム
実験研究	眼科の基礎研究-動物実験等	藤本臨床講師 田片臨床講師	水曜/4・5 限	通年	4	研究室
実験研究	眼科の臨床研究-統計解析等	福山助教 山本助教	水曜/4・5 限	通年	4	カンファレンスルーム

(第1学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	福山助教 山本助教 吉村助教	月曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	眼科の検査・手術手技	木村講師 増田臨床講師	第2火曜 /6限	通年	1	カンファレンスルーム
講義	眼科研究アップデート	五味主任教授 佐藤講師 田片臨床講師	第1月曜 /6限	通年	1	カンファレンスルーム
実験研究	眼科の基礎研究-動物実験等	藤本臨床講師 田片臨床講師	水曜/6・7 限	通年	4	研究室
実験研究	眼科の臨床研究-統計解析等	福山助教 山本助教	木曜/6・7 限	通年	4	カンファレンスルーム

(第2学年・昼間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	増田臨床講師 福山助教	月曜/5限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	眼科研究アップデート	五味主任教授 佐藤講師 田片臨床講師	第1月曜 /4限	通年	1	カンファレンスルーム
実験実習	眼科基礎研究の実践	藤本臨床講師 山本助教 吉村助教	水曜/4・5 限	通年	4	カンファレンスルーム
実験実習	眼科臨床研究の実践	木村講師 増田臨床講師	木曜/4・5 限	通年	4	カンファレンスルーム

(第2学年・夜間開講)

種別	内容	担当教員 (2名以上)	曜日/時限	期間	単位	場所
演習	研究経過報告と関連論文の抄読	増田臨床講師 福山助教	月曜/6限	通年	4	カンファレンスルーム
講義	眼科研究アップデート	五味主任教授 佐藤講師 田片臨床講師	第1月曜 /6限	通年	1	カンファレンスルーム
実験実習	眼科基礎研究の実践	藤本臨床講師 山本助教 吉村助教	水曜/6・7 限	通年	4	カンファレンスルーム
実験実習	眼科臨床研究の実践	木村講師 増田臨床講師	火曜/6・7 限	通年	4	カンファレンスルーム